

「2040 独立自尊プロジェクト」とは — 社会課題に立ち向かう“叡智の基盤” —

KGRI のミッションと取り組み

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート(KGRI)は、慶應義塾大学のグローバル化をより一層推進するための基盤として、2016年に設立されました。

慶應義塾大学は現在、10学部14研究科を設置していますが、それぞれが高い専門性を有する一方で、組織を越えた交流の活発化が求められています。これは、20世紀を通じて学問領域の細分化が進み、全体的な理解が困難となったアカデミア全般の状況とも重なる課題です。21世紀に入り、各分野から学際的・統合的・システマ的なアプローチが試みられるなか、慶應義塾では福澤諭吉が唱えた「実学の精神」をもって、この状況の打開に取り組んできました。

「学問のための学問」ととどまらず、学際的なアプローチで探求を行い、その成果を実社会へ還元していく教育・研究の姿勢が今、あらためて問われているのです。

KGRIの役割は、慶應義塾の学際的な研究活動を牽引し、その成果を広く国際的に発信していくことにあります。この活動の柱となるのが、慶應義塾が現在さまざまな資源を集中させている「長寿(Longevity)」「安全(Security)」「創造(Creativity)」という三つのクラスター領域と、その一環として2021年4月に設置された「2040独立自尊プロジェクト」です。

「2040 独立自尊プロジェクト」が目指すもの

現代社会が直面している諸問題のなかでも、最も重大な課題の一つが「2040年問題」です。2040年には、日本の高齢者人口は約4,000万人に達すると見込まれ、労働人口の急減や被介護者の増加、社会保障費の増大など、さまざまな社会課題の深刻化が予想されています。この危機的状況を日本がどう乗り越えていくのか、世界中がその行方を見守っているのです。

「2040独立自尊プロジェクト」はこの2040年問題に対して、個人および国家の「独立自尊」を守り、健全な社会を形成していくための取り組みです。独立自尊とは、自他の尊厳を守り、何事も自分の判断・責任のもとに行うことを意味する、慶應義塾の基本精神。世界に類を見ない超高齢社会を前に、慶應義塾の教員・研究者・学生が一丸となって解決を導き、この国家的困難の解決を目指します。

人類の叡智を結集し、よりよい未来を創造する

無数の要因が複雑に絡み合い、同時多発的な影響を及ぼす2040年問題。この問題と向き合うためには、組織や分野の壁を越えた体制が必要不可欠です。例えば、理工・医学・人文社会科学という異なる研究領域を融合させながら、企業や行政、海外機関とも積極的に対話・連携を図ること。世界に開かれた研究環境を整備し、次世代を担う若手リーダーの育成につなげる。そこから21世紀における真の独立自尊を実現し、国際社会を先導する新しい個人や国家の姿を導いていきたい。それは、大学自らがあらゆる分断を乗り越えて叡智を結集する基盤になるという、新しい大学のあり方を実践する試みでもあります。

未来に向けた「2040独立自尊プロジェクト」の取り組みに、ぜひご協力をお願いいたします。



慶應義塾大学
グローバルリサーチインスティテュート
所長 安井 正人

「2040 独立自尊プロジェクト」にかける想い — 未来をともに切り拓くみなさまへ —

サブリーダーからのメッセージ

こんにちは、「2040 独立自尊プロジェクト」サブリーダーの浅井誠です。

2040 年の日本には未曾有の超高齢社会が到来し、国家の基盤を揺るがす危機に直面すると考えられています。しかし重要なのは、それを地球的課題への挑戦の機会だと捉えることではないでしょうか。世界に先駆けてこの問題を克服できたなら、日本から新たな生活様式や国家のあり方を発信するチャンスになり得るはずで、この「2040 年問題」に真正面から向き合うべく、慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート(KGRI)はいわゆる社会課題バックキャスト型の分野横断プロジェクトとして、この取り組みを始動させました(※1)。

一例をご紹介します。私は、ソフトマターと呼ばれる技術を用いた人間と機械の調和・融合について研究を進めています。例えば電子人工皮膚センサーなど、体内に埋め込んだり取り込んだりできるデバイスが完成すれば、個人の健康情報を常時モニタリングし、健康リスクを早期にアラートできるようになる。その結果、医療の地域格差が解消され、まったく新しい健康長寿社会システムが誕生するかもしれません。しかし個人情報の管理リスクの面からは、個人の安全や国家の信頼に甚大な影響を及ぼす可能性について、考慮が必要になるはずで、そもそも人体の一部として機能するデバイスは、「人間とは何か」という哲学的な問いすら投げかけるでしょう。

また、現代科学は分野の細分化が著しく、各分野の深度も深まる一方です。そのなかで破壊的イノベーションのような知の還元サイクルを生み出すには、研究分野を横断する学際連携のスキームが極めて重要です。本プロジェクトでは、「2040 年問題」という人類的課題を掲げることによって、ワンルーフ・ワンチームの共創体制を徹底しています。

未来はどうあるべきなのでしょう。私たちはどうありたいと願うのでしょうか。

私たち人類の「幸福」は、やがて根底から問い直されることでしょうか。そのようなレジームチェンジが起こる時、私たちは何を頼ればよいのでしょうか。今こそ大学に求められる役割は、不確実な時代の羅針盤になることだと考えます。「大学=難しい研究をする場所」というステレオタイプから脱却し、研究者自身が夢見る世界を提案し、語らい、発信することで、子どもたちや一般社会の人々に夢を与えられるような研究者像を目指したい。そんな想いを胸に、私たちは立ち上がりました。未来に向けて、時代の先導者たる慶應義塾の使命を胸に、そして社会における「実学者」の模範たるために、私たちは奮闘します。

私たちの取り組みはすべての人に開かれています。未来を一緒につくっていただける仲間として、みなさまのご参加を心からお待ち申し上げております。



浅井 誠
KGRI 特任教授

鳥谷 真佐子
KGRI 特任教授

河嶋 春菜
KGRI 特任准教授

加藤 靖浩
KGRI 特任講師

(※1) 「2040 独立自尊プロジェクト」で行われる研究の分類区分について……KGRI が推進する 3 基軸に沿って以下の区分が用いられる場合がありますが、これらはあくまで枠組み上のものであり、各研究はすべて分野横断・学際融合の姿勢のもとに実施されています。

- ・長寿…「健康寿命延伸プロジェクト」
- ・安全…「プラットフォームと『2040 年問題』プロジェクト」
- ・創造…「革新的ソフトマター統合プロジェクト (RISΣ プロジェクト)」

趣意書

「2040 独立自尊プロジェクト」へのご協賛のお願い

「2040 年問題」という国家的な社会課題を解決するために、大学に今、何ができるのだろうか。

「2040 独立自尊プロジェクト」は、そんな問いから始まっています。大学。最高学府。学問創発の場。大学は真理の探求に邁進し続けてきました。学問は人々をあらゆる不自由から解放し、人類の可能性を押し広げてきました。そして、テクノロジーの進化が加速度的になり、価値観や社会・国家観が急速に変化し続ける混沌の世界に今、私たちは立っています。

未来が見通せない時代の中で、大学はますます重要な役割を担っていきましょう。大学は真理の場所です。物事の本質に出会う場所です。真理の探求心をもって一筋の光を照らし続ける灯台であることが、新しい大学の役割であり、「2040 独立自尊プロジェクト」の目指す姿でもあります。

そのためには、私たちも変わらなければなりません。私たちの取り組みが、「大学による大学のための取り組み」に終始してはなりません。大学はこれまで以上に、広く社会に開かれた存在であるべきです。何故なら、2040 年問題はあらゆる人々、みなさんご自身に関わる問題であるからです。そこで慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート(KGRI)は、国際的に注目されている有望な若手研究者たちを抜擢し、次世代の社会を切り拓く最先端研究の場を創造するべく、本プロジェクトを立ち上げました。若手研究者が中心となってまったく新しい大学像を描き出し、自らそれを実践することで社会にその真価を問いかける、スタートアップの取り組みだご理解いただければ幸いです。

「2040 独立自尊プロジェクト」は、2040 年問題に対して何らかのコミットをしたいと願う方々に向けて、開かれたコミュニティでありたいと考えます。本プロジェクトのインパクトを社会に広く問うことで、その成果を社会の中に実装し、持続可能で発展的なプロジェクトとして成長させていきたい。だからこそ、志を同じくする優秀な研究者を世界中から募り、社会を変革する大きなうねりを起こしていく必要があるのです。

そのために「2040 独立自尊プロジェクト」では、広く企業のみなさまや一般のみなさまから、寄付を募ることにいたしました。社会を変える新しい取り組みに向けて、KGRI と手を携えていただけるみなさまとともに、本プロジェクトを成長させていきたいと考えております。

ぜひ、ご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

慶應義塾大学
グローバルリサーチインスティテュート
所長 安井 正人



協賛のご案内

概要

- 「2040 独立自尊プロジェクト」の取り組み（社会課題解決や新しい共同研究のあり方など）に共感いただき、研究者が自由かつオープンで横断的に研究できる体制構築をサポートいただける法人・団体・個人様が対象です。
- 1口100万円からのご協賛をお願いしております。特典として下記①~⑤を提供いたします。ただし、特典③に関しては、1口の協賛者様は参加できる交流会の回数が限定されております。
- ご協賛は年度毎にお受けしております。複数年にわたるご協賛をお願いいたします。

特典

① 公式スポンサー

- ・KGRI（2040 独立自尊プロジェクト）のウェブサイトにて公式スポンサーとして御社ロゴマーク（社名）を掲載
- ・「2040 独立自尊プロジェクト」ロゴを御社資料／ウェブサイト等に掲載可能

② 研究レポート

- ・半年毎：全研究テーマの進捗をまとめたレポートをご送付
- ・四半期毎：各研究者が興味を持った論文／学会感想コラムをご送付

③ 研究者コミュニティとの交流

- ・「2040 独立自尊プロジェクト」をはじめ、KGRIの研究者コミュニティとの交流会に参加可能（1口の協賛者様は参加できる交流会の回数が限定されます）

④ 『三田評論』の贈呈

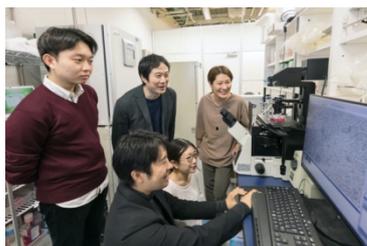
- ・慶應義塾の機関誌『三田評論』の芳名掲載号（ご入金から約2~3ヵ月後）を贈呈

⑤ 税制上の優遇措置

- ・「2040 独立自尊プロジェクト」を通じて慶應義塾（特定公益増進法人）にいただいた寄付金は、税制上の優遇措置の対象

お問い合わせ先

- ・慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート事務局（慶應義塾学術研究支援部 KGRI 担当）
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
E-mail : kgri-2040pj@adst.keio.ac.jp
TEL : 03-5427-1358
Web : www.kgri.keio.ac.jp/



「2040 独立自尊プロジェクト」における、分野横断型の研究活動風景